

Active Directory 証明書サービスで発行した証明書の配布方法

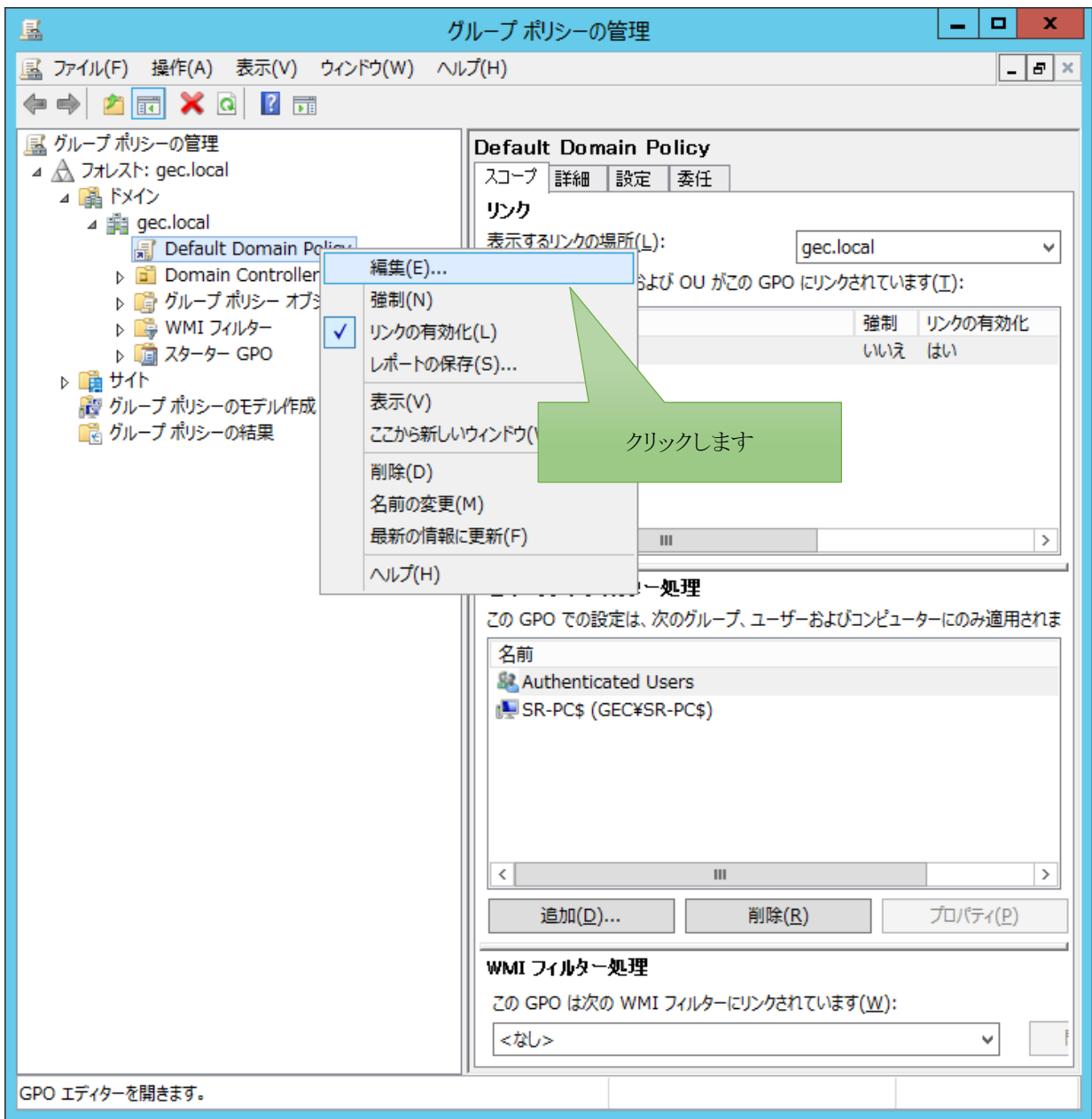
グループポリシーによる配布

Active Directory を構成している場合は、グループポリシーによる配布が可能です。

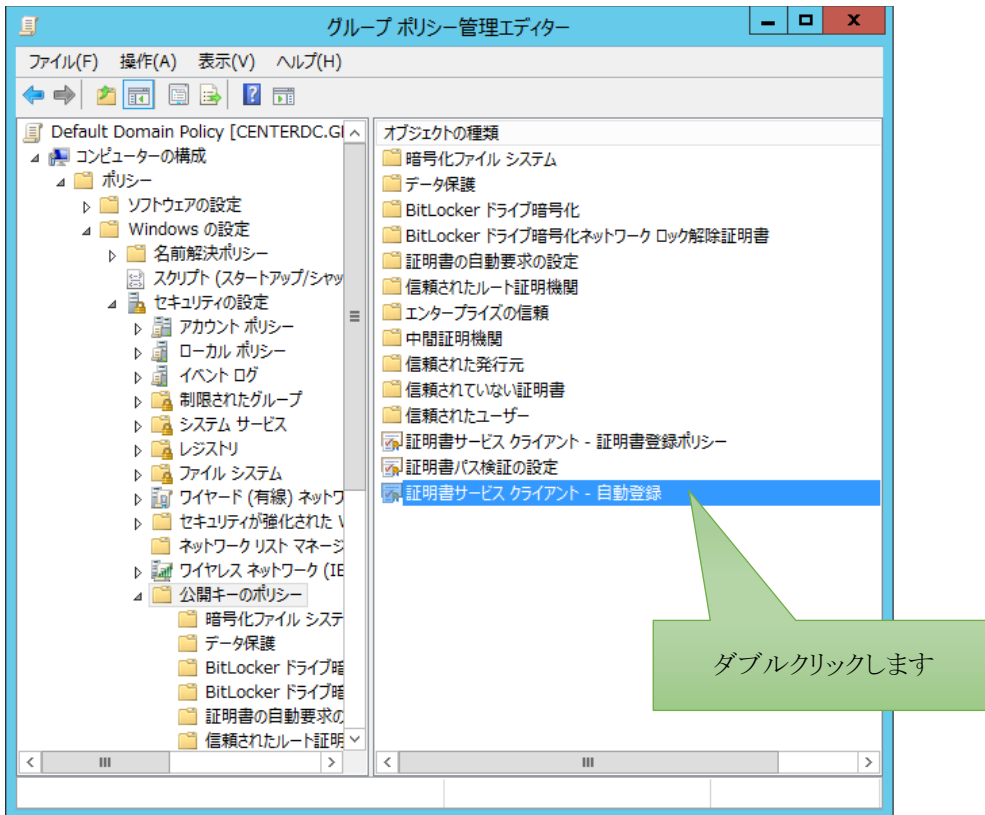
ここでは、Windows Server 2012 R2 の操作画面で説明します。

初めに管理ツールからグループポリシーの管理を選択。

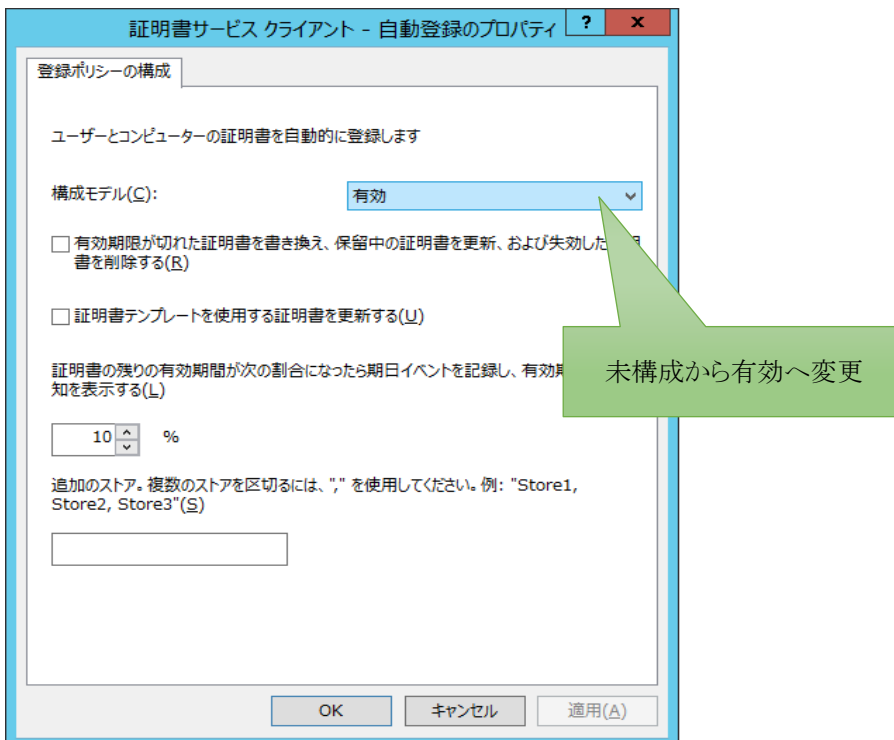
グループポリシーの管理画面から対象のドメインを展開。
「グループポリシーオブジェクト」-「Default Domain Policy」
を右クリックして「編集」を選択します。



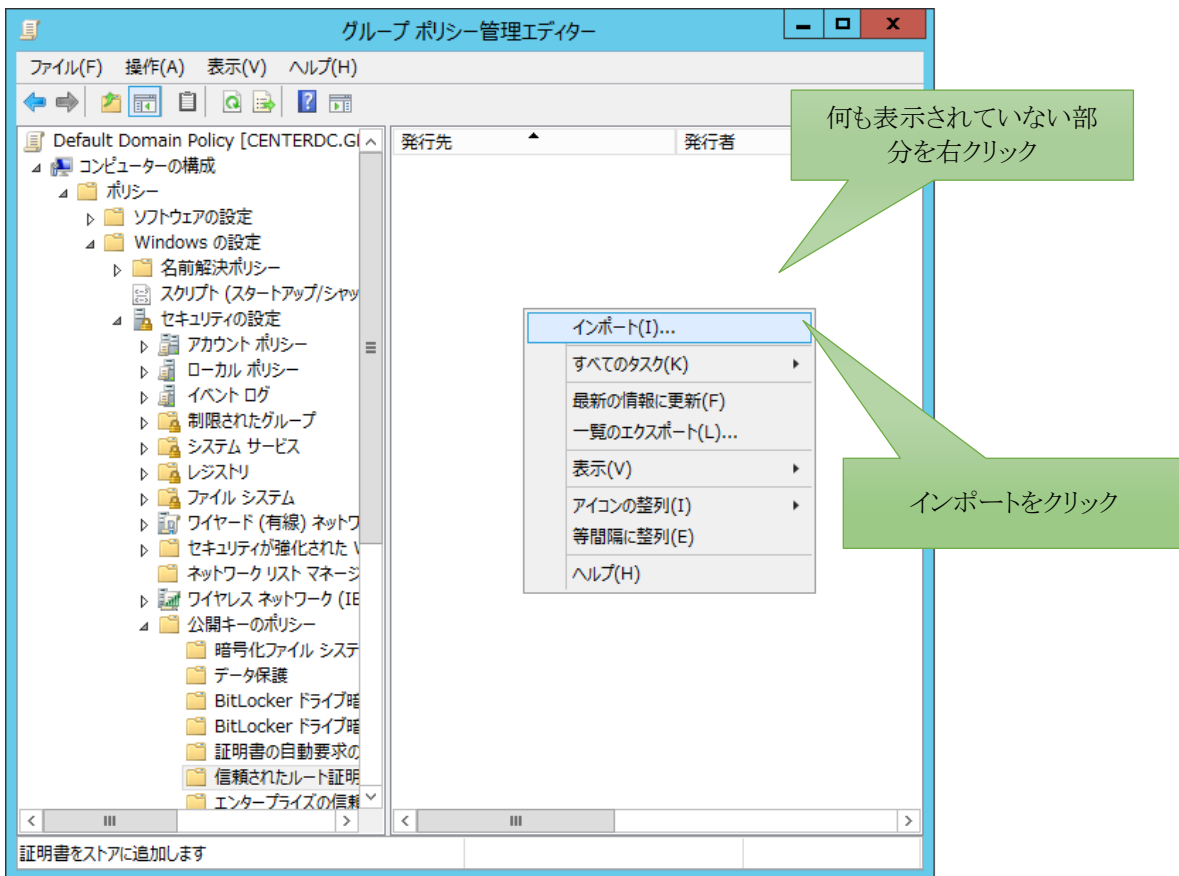
グループポリシー管理エディターが起動します。
「コンピューターの構成」-「ポリシー」-「Windows の設定」-「セキュリティの設定」
-「公開キーのポリシー」を選択。
「証明書サービスクライアント-自動登録」をダブルクリック。



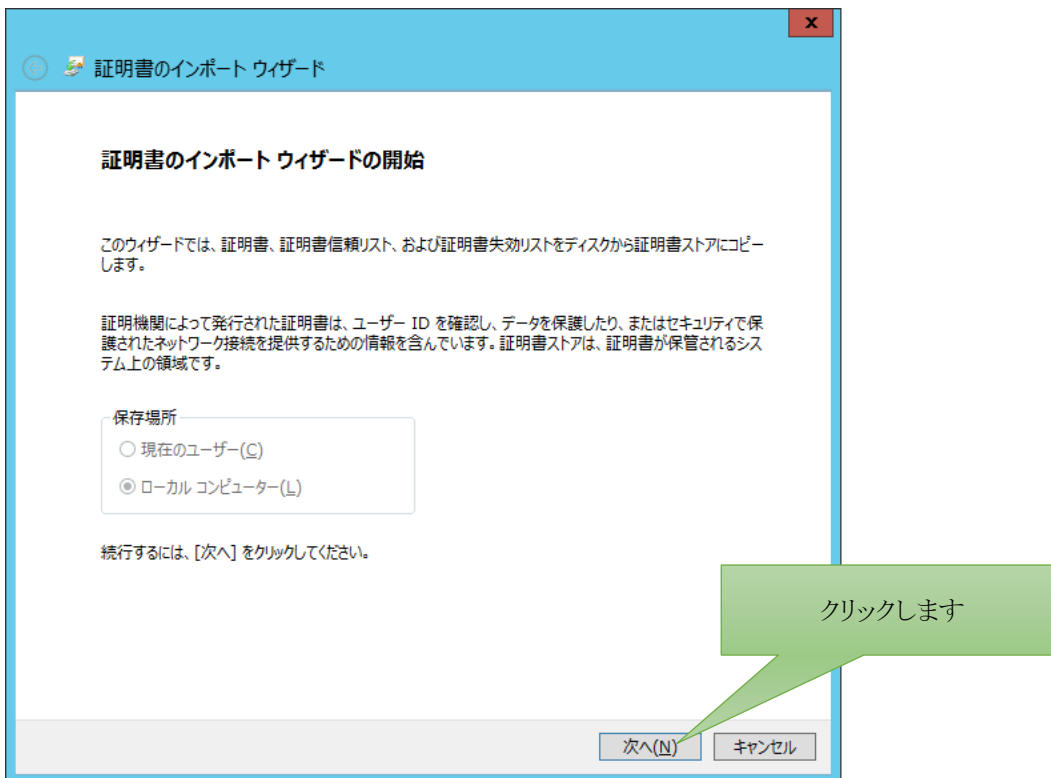
証明書サービスクライアント-登録ポリシーの構成で、構成モデルを「有効」にします。



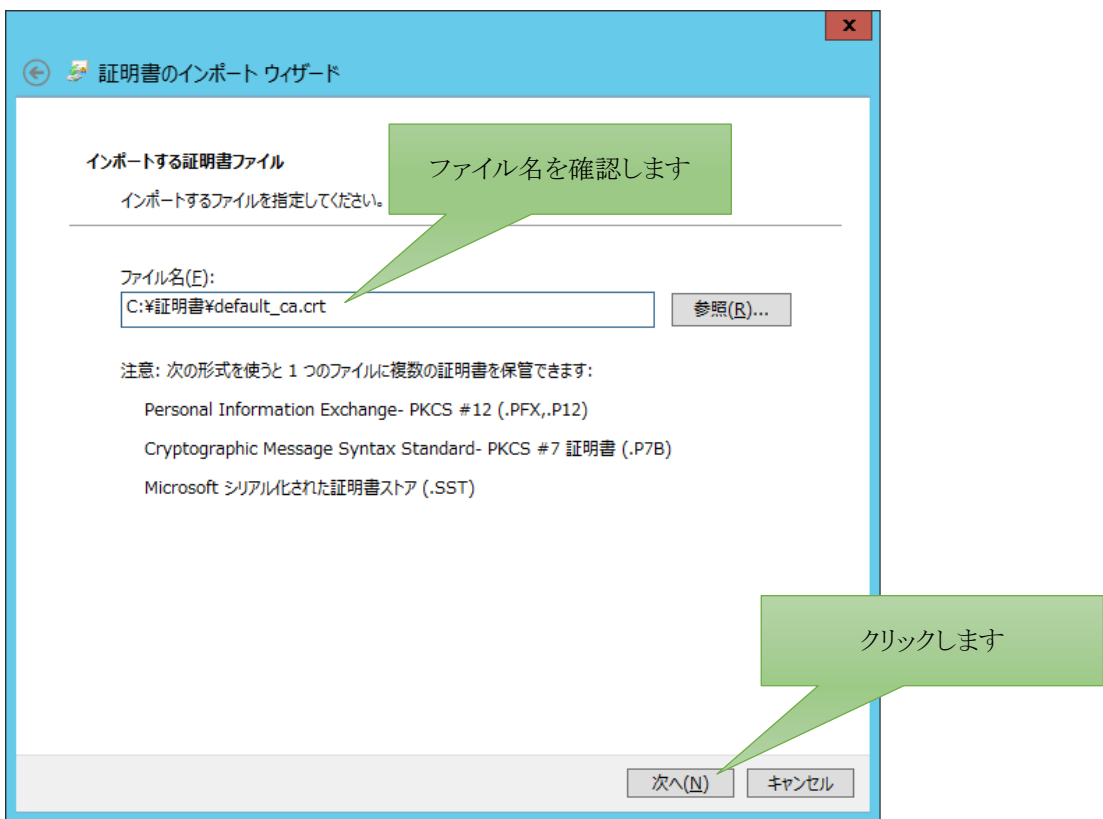
次に、さらに下にある「信頼されたルート証明機関」を開き、右クリックで表示されるメニューの「インポート」を選択。



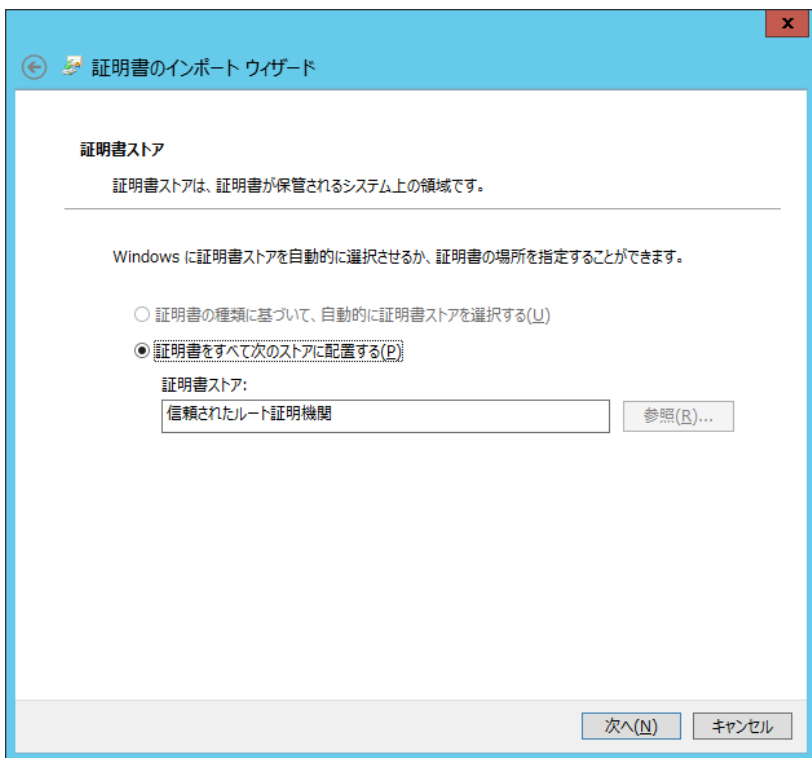
証明書インポートウィザードが開始されたら「次へ」をクリック。



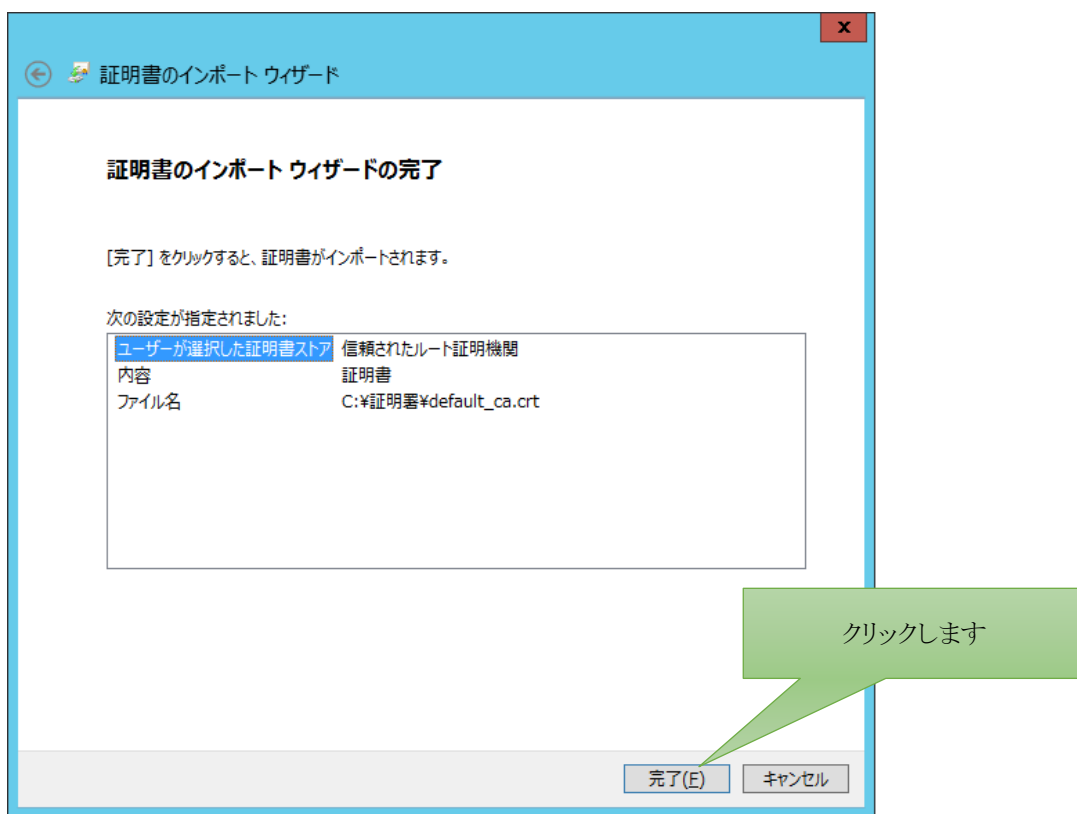
インポートする証明書ファイルの指定では、センターから配布された「default_ca.crt」を指定します。



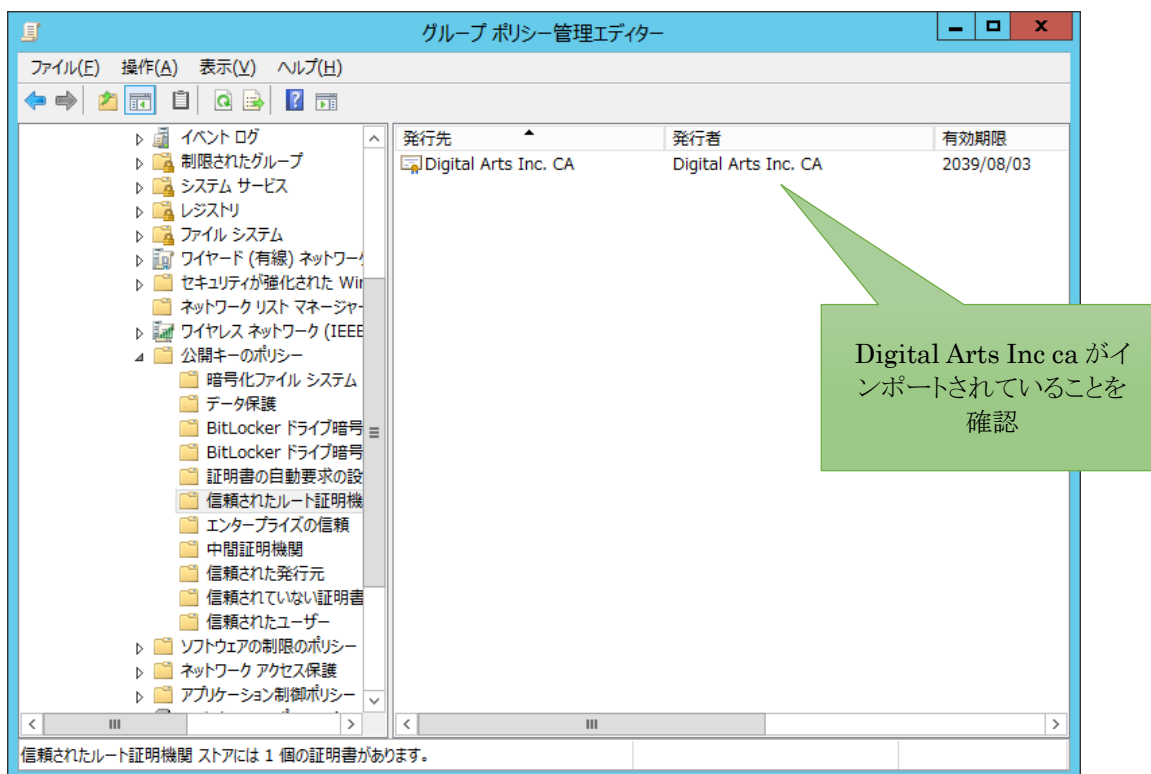
「証明書をすべて次のストアに配置する」-「信頼されたルート証明機関」となっていることを確認して次へ。



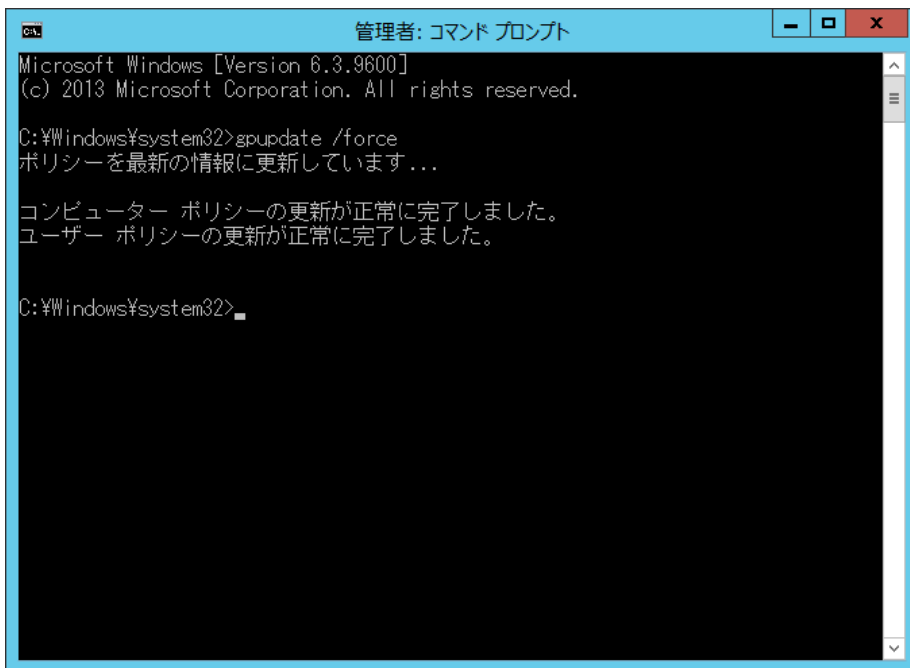
「完了」をクリックし、インポート完了です。



インポート完了後、「信頼されたルート証明機関」に証明書がインポートされたことを確認



ドメインに参加しているクライアントでは、一度再起動を行うかコマンドプロンプトで「gpupdate /force」を実行します。



Internet Explorer の「インターネットオプション - コンテンツ - 証明書」から「信頼されたルート証明機関」に「Digital Arts Inc. CA」が存在することを確認します。

